

PRIMERGY オプション ハードディスクキャビネット JX60 S2 自己暗号化対応SASアレイコントローラカード/ドライブ

PRIMERGY ハードディスクキャビネット JX60 S2、自己暗号化対応SASアレイコントローラカード/ドライブ、その他新規オプションを販売開始します。

【ここがポイント】

- ①JX60 S2はSAS 12Gbpsインターフェース対応。また、より多種の内蔵ストレージ(HDD,SSD)を搭載可能
- ②10TB、8TBの大容量HDDの新規提供(JX60 S2カスケード接続+10TBHDDで最大1.2PBを実現可能)
- ③自己暗号化対応のカード・ドライブの組み合わせで、ドライブ盗難・紛失からの情報流出を防止

FUJITSU Server PRIMERGY ラインナップ

タワー (TX)	TX1310 M1 (1WAY) 	TX1320 M2 (1WAY) 	TX1330 M2 (1WAY) 	TX2540 M1 (2WAY) 	TX2560 M2 (2WAY)  最上位CPU追加					
ラック (RX)	RX1330 M2 (1WAY/1U) 	RX2520 M1 (2WAY/2U) 	RX2530 M2 (2WAY/1U)  最上位CPU追加	RX2540 M2 (2WAY/2U)  最上位CPU追加	RX2560 M2 (2WAY/4U)  最上位CPU追加	RX4770 M3 (4WAY/4U)  最上位CPU追加				
ブレード (BX)	BX400 S1 (6U) 	BX900 S2 (10U) 	クラウドサーバ (CX)	CX400 M1 (2U) 	CX600 M1 (2U) 	BX2560 M2 (2WAY) 	BX2580 M2 (2WAY) 	CX2570 M2 (2WAY)  最上位CPU追加	CX2550 M2 (2WAY)  最上位CPU追加	CX1640 M2 (1WAY) 

ユニット(U)：製品の高さを表す単位

4WAYサーバ用および2WAYサーバ用CPUラインナップに最上位クラス追加

New

4WAYサーバ用新CPU

「Xeon プロセッサ E7-8894v4 (2.40GHz/24コア/60MB)」

従来の最上位CPU「Xeon プロセッサ E7-8890v4」に比べ、CPUの動作周波数が2.20GHzから2.40GHzへ向上しました。

価格(税別): 2,323,000円

2WAYサーバ用新CPU

「Xeon プロセッサ E5-2699Av4 (2.40GHz/22コア/55MB)」

従来の最上位CPU「Xeon プロセッサ E5-2699v4」に比べ、CPUの動作周波数が2.20GHzから2.40GHzへ向上しました。

価格(税別): 1,412,000円



■ **大容量**

- ✓ 4Uの筐体に**従来比2.5倍の最大60台/600TB**搭載可能 (3.5インチ ニアライン SAS HDD 10TB×60)
- ✓ カスケード接続により**最大1.2PB**まで容量拡張が可能

■ **高性能**

- ✓ SAS 12Gbpsのドライブインターフェースを採用
- ✓ SSDに対応、高速トランザクションが必要なシステムに最適

価格(税別): 1,995,000円

10TB、8TBの大容量HDDを新規提供

New

3.5インチBC-SATA/ニアラインSAS HDDにおいて、最大10TBまでの大容量帯をラインナップに追加しました。内蔵ディスク構成の選択がひろがり、さらに多くの用途に対応できます。

自己暗号化対応SASアレイコントローラカード/ドライブ*1

New

ドライブ*1内のデータを暗号化し、セキュリティレベルの向上を実現

■ **Diskの盗難や紛失からの情報流出を防止**

セキュリティキーを設定することで、特定のサーバのみデータにアクセスすることが可能

■ **ドライブ破棄を簡易化、データ保護に関するコストを軽減**

HDD内のセキュリティキーを破棄することでデータの読み書きを不可

■ **他の業務処理に影響しない暗号化**

暗号化の処理をドライブ側にオフロード



[対象機種]

- RX1330 M2、RX2530 M2、RX2540 M2、RX2560 M2、TX1330 M2、TX2560 M2、CX2550 M2、CX2570 M2

*1 : SAS SSD、SAS HDD、ニアラインHDD

「VDIグラフィックスカード(NVIDIA Tesla M60)」

注目のオプション

VDI環境でグラフィックス処理を高速化するNVIDIA社の最新GPU

- いままで難しかった**CAD業務のサーバ集約**が、グラフィック性能向上により**実現可能**に!!
- 従来製品(NVIDIA GRID K2)と比較して性能が約2倍で**高集約**(最大32人/1枚)



- 物理ワークステーションの場合は、1人 (1つのOS) がGPUを占有。
- 1ユーザへのリソース最大化を実現。

- VDIの場合は、複数ユーザ (複数のOS) でGPUを共有。
- 複数ユーザへ最適なリソース配分を実現。

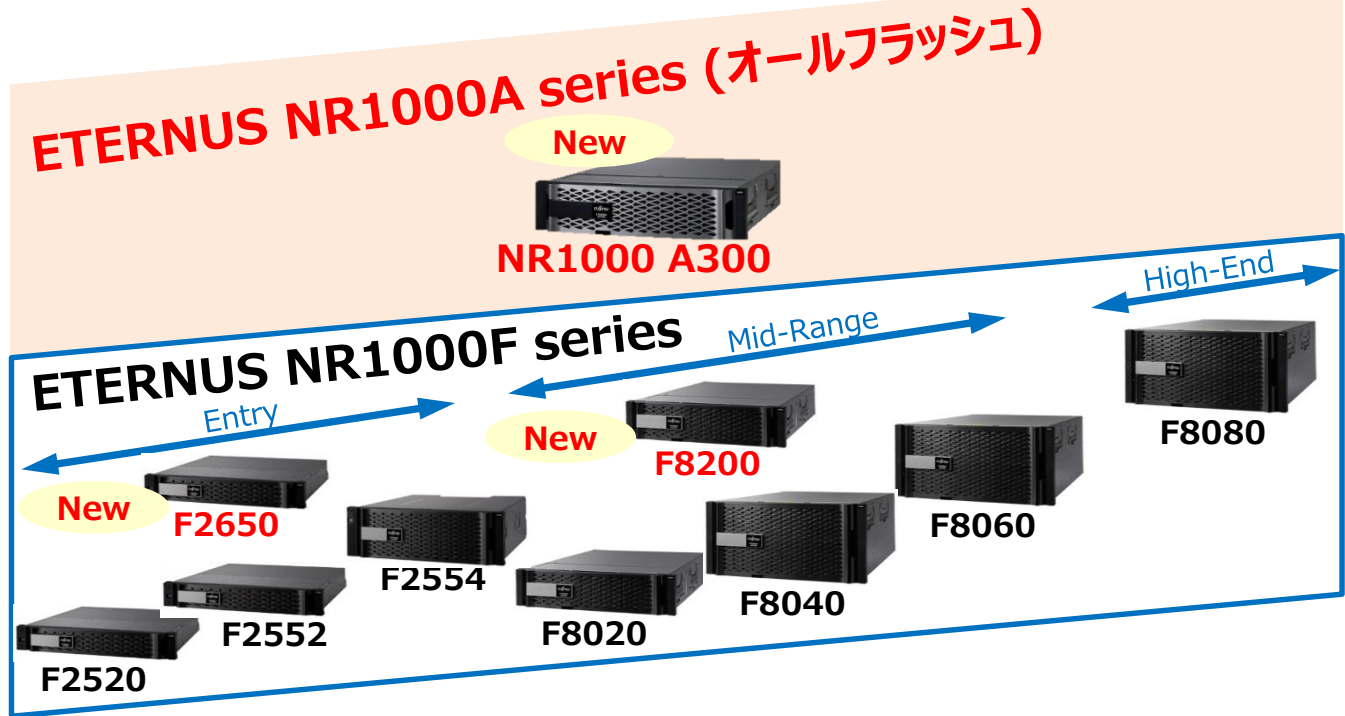
価格(税別): 1,270,000円



ネットワークディスクアレイ「ETERNUS NR1000 series」において、
新モデル「A300、F2650、F8200」を販売開始いたします。

【ここがポイント】

- ①オールフラッシュに特化したA seriesを新たにラインナップ 高性能と高信頼性を兼ね備えたモデル : A300
- ②HDD/SSDのハイブリッド F seriesに新モデル登場 1クラス上の大幅性能向上を実現 : F2650、F8200



A300の特長

オールフラッシュで高速

オールフラッシュに特化したアーキテクチャで高速化を実現します。業界最先端の12Gb SAS IF接続にて最大384台のSSDが搭載可能。アクセス性能向上のための専用メモリをコントローラあたり256GB搭載し、空きブロック書き込みのメモリ内結合処理により、SSDのパフォーマンスと寿命を最大限に活用します。

容量効率化

重複排除とデータ圧縮技術に加え、同じボリュームの複数の論理ブロックを1つにまとめるデータコンパクション技術を採用し、SSDのディスクスペース効率をより向上します。更に性能への影響を最小限に抑えたインラインでの重複排除/圧縮もサポートし、高性能とコストパフォーマンスを実現します。またSSDのデータ領域は2つのパーティションに分割して異なる領域に割り当て可能で、SSD容量の有効活用を可能とします。

大容量かつ高信頼性

業界最大容量の15.3TB SSDを採用し、最大物理容量 5.8PBの構成が可能です。また最大24コントローラのNASクラスタ構成により、将来的なパフォーマンスや容量のニーズの変化にも対応します。RAID-DPIに加え、RAID-TEC(トリプルパリティ)のサポートにより、高い耐障害性を提供します。実績の高いclustered ONTAPの採用により、SnapMirrorによるF seriesとのデータ連携が可能です。

F2650, F8200の特長

容易な導入と運用性

- ◆ 高い処理能力と信頼性を兼ね備えた高性能モデル
- ◆ 多様なサーバ/クライアントのファイル共有
- ◆ 容易なシステム管理
- ◆ セキュリティ管理
- ◆ ディスク容量の効率的な利用

高速処理

- ◆ ファイルサーバに特化したOS~ONTAP
- ◆ ディスクアクセスの高速化を実現
- ◆ 専用メモリによるアクセス性能の高速化







高信頼性

- ◆ コンポーネントの冗長化による連続運転の実現
- ◆ RAID方式でのデータ保護機能「RAID-TEC」
- ◆ 停電時のライトデータの保持
- ◆ リアルタイムなウイルス検索を実現

バックアップ

- ◆ 高速なバックアップリカバリーを実現
- ◆ 災害対策や参照データの広域自動配布を実現
- ◆ バックアップ作業の省力化

サマリ

	オールフラッシュ		ネットワークディスクアレイ	
	 ETERNUS NR1000 A300	 ETERNUS NR1000 F2650	 ETERNUS NR1000 F8200	
パフォーマンス 	オールフラッシュに特化したアーキテクチャでデータの高速化を実現	最大3倍のパフォーマンスを達成	最大1.5倍のパフォーマンスを達成	
経済性 	2ラックが5Uに省スペース化	ストレージ管理作業を簡易化し、従来より最大3倍効率化	既存ストレージの一括管理で投資を最大限に活用	
スマート 	保守性とアップグレード性が向上	フラッシュやクラウドなど変化するニーズに対応	卓越した可用性とノンストップオペレーションを実現	
価格	3,582万7,000円 (税別・最小構成時) より 【主要な構成内訳】 コントローラー×2, Base 制御機構×2 960GB SSD×12	332万3,800円 (税別・最小構成時) より 【主要な構成内訳】 コントローラー×1, BASE制御機構×1, 900GB(10krpm) SAS ディスク×12	1,543万8,800円 (税別・最小構成時) より 【主要な構成内訳】 コントローラー×2, BASE制御機構×2, 900GB(10krpm)SAS ディスク×24	

FUJITSU Security Solution FENCE-Mobile RemoteManagerは、スマートデバイスのセキュリティを一元管理するサービスです。資産管理、アプリ管理機能に加え、紛失・盗難時の情報漏えい対策や不正利用対策などのセキュリティ機能をクラウドサービスにて提供することで多数のモバイル端末の管理を効率的に実現します。

【ここがポイント】

- iOS/Android/Windowsに対応しています。マルチOS環境でも一元管理が可能です。
- New** • Googleが提供する「企業でのAndroid使用をサポートするプログラム『Android for Work』」に対応しました。OSレベルでの確実なデバイス管理やアプリケーション管理が可能となり、企業においてより安全にAndroid端末をご利用いただけます。
[Android for Work対応による新機能（以下の2種類のモードを選択可能）]
- Device Ownerモード：企業支給のAndroid端末向けに機能制限や資産管理を実施
- Profile Ownerモード：個人所有のAndroid端末向けに個人領域とは別に仕事用領域を作成し、企業で管理
- New** • iOS端末はVPP（企業向けボリューム購入プログラム）に対応しました。App Storeアプリの一括購入および端末へのライセンス割り当てが可能となります。

概要

課題

- 端末の盗難・紛失による情報漏えい対策が必要。キャリアやOSは混在。
- コストや時間をかけず端末のセキュリティ管理を実現したい。
- 管理者不在時のセキュリティ対策。

効果

- マルチキャリア、マルチデバイス対応により利用機種を問わず端末を遠隔から一元管理可能。
- クラウドサービスでの提供により、低コストかつスピーディーに導入が可能。
- 運用代行サービスにより、管理者不在時や業務時間外のセキュリティも安心。

- スマートデバイス（スマートフォンやタブレットなど）を業務で使用する際の端末一元管理および遠隔からのセキュリティポリシー適用や盗難・紛失対策が可能です。
- いつでもどこでも使用できるモバイル端末のセキュリティ対策をサポートします。

システム管理者

ヘルプデスク

操作・設定

FENCE-Mobile
RemoteManager

運用代行サービス
(オプション)

- ・ 紛失・盗難対策

遠隔コントロール

マルチキャリア
マルチデバイス対応

資産管理

- ・ デバイス情報
- ・ アプリ情報

アプリ管理

- ・ 配信
- ・ 利用制限

紛失・盗難対策

- ・ ロック
- ・ ワイプ
- ・ 位置情報

不正利用対策

- ・ カメラ
- ・ 発信番号
- ・ Bluetooth
- ・ 画面キャプチャ
- ・ 無線LAN
- ・ URLフィルタリング

お客様のメリット

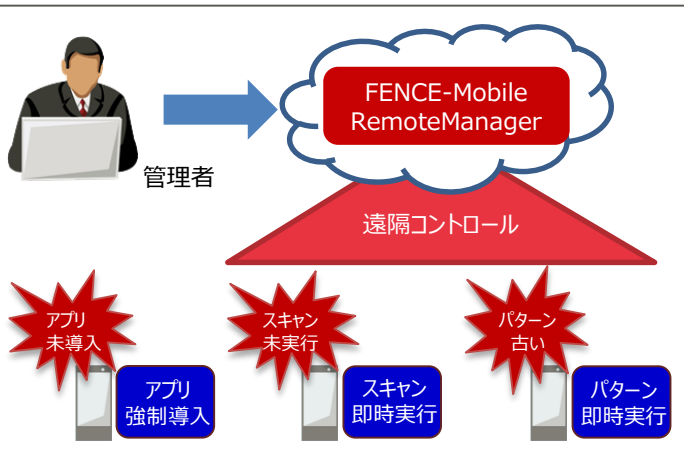
- 利用機能制限やアプリケーション管理のセキュリティポリシーの一元適用により、管理者の負担を軽減します。
- 各端末エラー情報のメール通知により、迅速に対象端末への処理対応を実施いただくことが可能です。
- 無償トライアルにてお気軽にお試しいただけます。また、スモールスタートからの運用開始も可能です。

特長

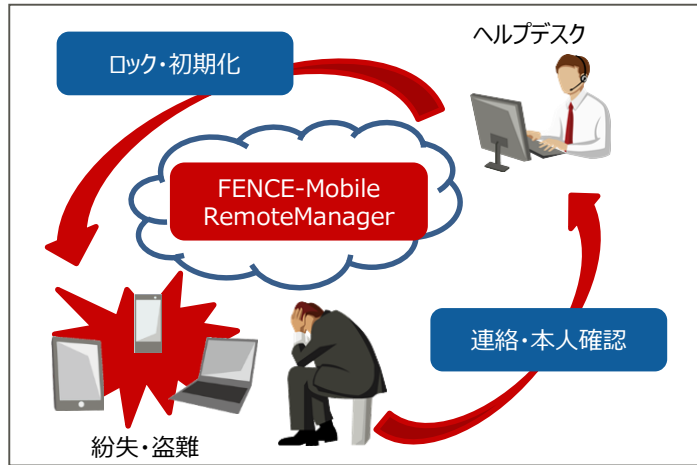
- ポリシー設定の利便性の向上
スマートデバイスのOSを問わず、ポリシー（セキュリティール）を一画面で作成でき、利便性の高い画面で管理することが可能です。



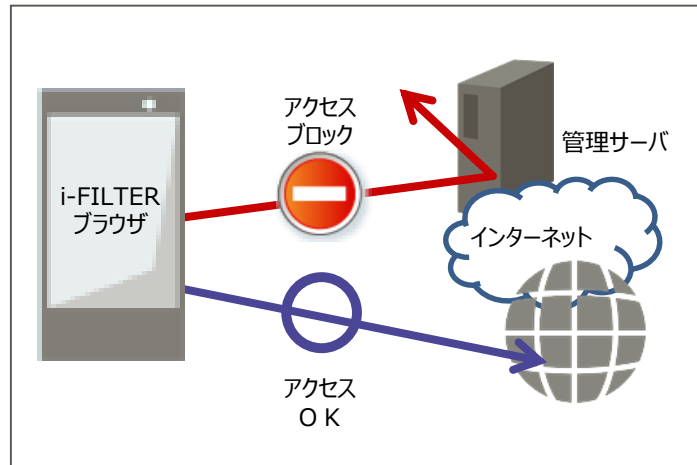
- ウィルス・マルウェア対策の一元管理（オプション）
管理者様は、端末にコマンドを発行し、ウィルスの定義パターン、ファイル更新、ウィルススキャン更新などのスケジュールを一元管理することが可能です。



- 24時間 365日紛失・盗難対策の実現（オプション）
24時間365日管理者様に代わって端末ロック・初期化を代行します。夜間・休日などの業務時間外の発生でも安心です。



- 豊富なフィルタリング機能で導入・運用負荷軽減（オプション）
専用Webブラウザより端末から特定のHPへのアクセスを制限することが可能です。私的利用抑止による業務効率の向上、脅威情報サイト抑止による安全なWebアクセスを実現します。



ご参考価格

全ての基本機能を利用可能な「基本利用サービス」に加え、資産管理や紛失・盗難対策（ロック、ワイプなど）に機能を限定した廉価版「基本利用サービス（Light版）」をご提供します。
お客様のご要望に応じて基本利用サービスを選択ください。オプションは、ご要件に応じて選択ください。

タイプ	サービス名	標準価格（税抜）	種別	備考
基本	基本利用サービス	300円/ID	月額	（最低利用数は10端末から）
	基本利用サービス（Light版）	100円/ID	月額	
オプション	運用設定サービス	50,000円	一括	24時間365日紛失・盗難対策を実現するには本オプションが必要。
	運用代行サービス ※1	20円/ID	月額	
	ウィルス対策サービス	200円/ID	月額	ウィルス・マルウェア対策を実現するには本オプションが必要。
	i-FILTERブラウザサービス※1	200円/ID	月額	Web閲覧のフィルタリングを実現するには本オプションが必要。

※1 基本利用サービスと同数のお申し込みが必要です。

※ 購入数に応じたボリュームディスカウントやプログラムサポート費、導入費などの価格に関するご質問は、弊社担当営業までお問い合わせください。



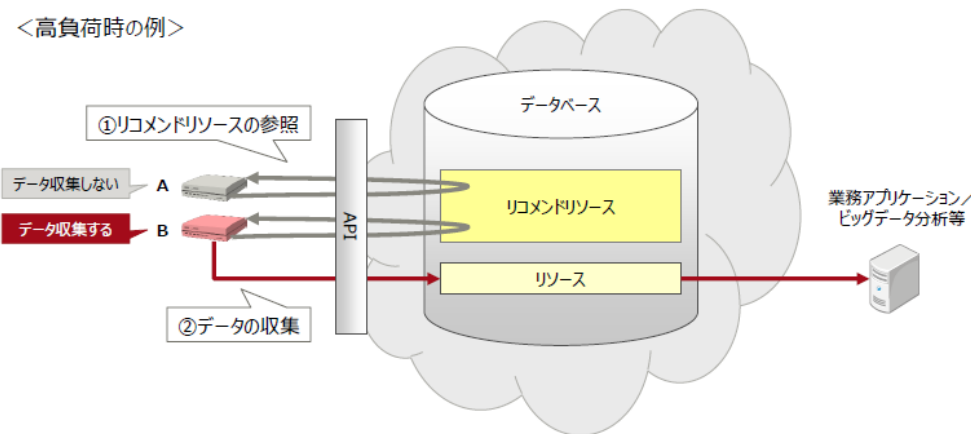
IoTシステム向けアプリケーション開発を行う企業や研究機関などを対象に、大規模IoTシステム向けテストベッド（実証環境）の無償提供を2017年2月6日より開始し、今後1年間利用者を募集します。本テストベッドを利用することで、利用者はデータの所在管理や効率的な分散処理を行う仕組みの作り込みが不要となり、大規模IoTシステム向けアプリケーションの開発を迅速に行うことが可能になります。

テストベッドの特長

提供するテストベッドは、クラウド型のIoTデータ活用基盤サービス「FUJITSU Cloud Service K5 IoT Platform(以下K5 IoT Platform)」をベースに富士通研究所の新技术を組み込んでおり、以下の機能/技術を利用できます。

■ ダイナミックリソースコントローラー(以下DRC)の搭載 ※K5 IoT Platformに搭載済み

<高負荷時の例>

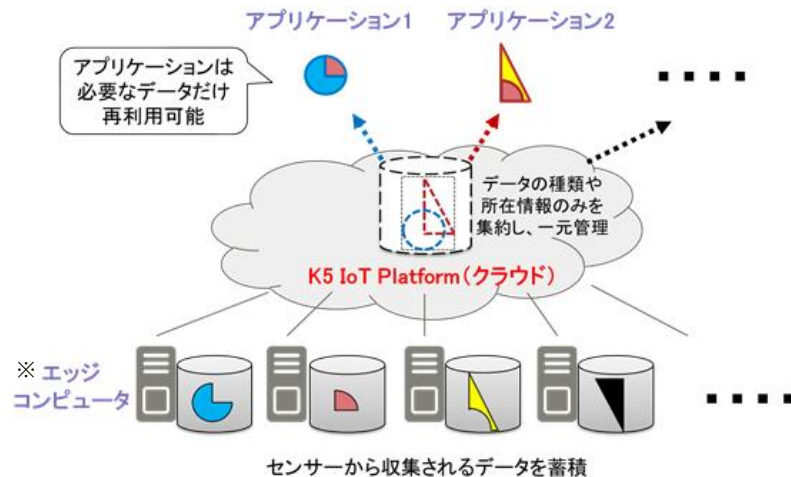


ネットワークトラフィックやデータ処理の負荷状況に応じて、センサーから収集された大量のデータの処理を、最も効率的に分散できるクラウドとエッジコンピュータに振り分けることで、安定したリアルタイム処理を実現する機能。

データ収集において、クラウドにかかる負荷によってデータ収集を制御する指針として利用できる「リコメンド」を提供します。お客様はリコメンドを利用することにより、負荷状況に応じたデータ収集を行うことができます。

- A : 優先度が低いデータ（高負荷時にはデータ収集を行わないデータ）
- B : 優先度が高いデータ（高負荷時もデータ収集を行うデータ）

■ 広域分散データアクセス技術の搭載 ※DRCのエンハンスとして富士通研究所が開発中



クラウドと※エッジコンピュータに分散して蓄積されるデータの一元管理を可能にする富士通研究所の新技术。

分散して蓄積される全てのデータの種類や所在情報のみをクラウドに集約し、一元管理を可能にします。これにより、他のアプリケーションでのデータの再利用といった効率的なデータ活用が実現できます。

※エッジコンピュータ：クラウドとセンサーなどの間に配置されるコンピュータ。

ご利用条件、期間

- 上記の機能/技術を使用し、テストベッドの利用目的・利用状況を記載した報告書を提出すること
- 開通通知より半年間

問合せ先

富士通株式会社 ネットワークサービス事業本部 IoTビジネス推進室 商品企画部
電話:03-6424-6562、メール:contact-iottestbed@cs.jp.fujitsu.com